

結果様式⑤

別子山校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成20年8月3日(日) 13:00～15:00
場 所 別子山公民館
参加者数 26人



1 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 ごみの減量化について

討議内容(要約)

【質問・検討事項-1】

地域の著しい高齢化、住宅の点在及び商店が極めて少ないなどの地域特性に十分配慮していただき、高齢者ができるだけ容易にごみ袋を購入することのできる体制作りを努めていただきたい。

【協議検討結果-1】

別子山地区では、スーパーやコンビニ等の店舗がないことから、小売店以外の施設での販売も必要であると考えています。具体的には、郵便局、筏津山荘、ふるさと館、ガソリンスタンドなどでの販売をお願いしたいと考えています。また、他にも販売可能なところがあれば、検討していきます。

【質問・検討事項-2】

ごみ減量施策には、3R運動、分別の見直し、マイバッグ運動など、様々な方策が考えられますが、特に高齢者の十分な理解が得られるよう、親切丁寧かつ分かりやすい説明会を心がけていただきたい。

また、説明時間を十分に取っていただき、説明会の回数も複数回となるよう、配慮していただきたい。

【協議検討結果－２】

１２月議会で可決されれば、来年の１月から実施予定の１０月までの９ヶ月間、場合によっては、制度導入後も説明会を実施する予定です。

また、高齢者にも理解できるような資料を使い、要請によっては、複数回の説明会の開催も可能と考えており、できるかぎり地元の要請に応えていきたいと考えています。

※再検討事項

特になし



２ 校区設定市政課題

課題名「主要地方道 新居浜別子山線」の早期全面改良の実施

討議内容（要約）

【質問・検討事項】

「主要地方道 新居浜別子山線」は、別子山地域住民にとって、別子山と新居浜を結ぶ唯一の幹線道路であり、日常の生活道路としてはもちろんのこと、特に災害時や緊急事態発生時、あるいは、地域再生に必要不可欠な道路であると認識しています。

当該道路の事業主体は、愛媛県であり、非常に厳しい財政事情のなかにあつて、青龍橋をはじめ、精力的に整備が進められているが、まだまだ狭隘な部分、危険な部分が多く残されており、２車線又は１．５車線化による、一日も早い全線整備が、強く求められています。また、通常の維持管理についても、重点的に実施していただきたい。

愛媛県に対するこれらの要望については、連合自治会を中心に、積極的に取り組んでいきたいと考えていますが、新居浜市としても、全力を挙げて、支援

していただきたい。

【協議検討結果－２】

当該道路の整備については、観光利用の促進と水源地域の自立的・持続的な活性化を支援するため、愛媛県において、精力的に整備が進められています。

路線の中でも、鹿森ダム周辺は、急峻な地形の山岳道路であり、狭隘区間も多く、急カーブが連続するなど、通行の支障となっており、大型バスが通行不能であることから、青龍橋工区の整備を平成21年度の供用を目指し、進められています。

また、大永山地区、下七番地区ににおいては、1.5車線の道路整備が実施されており、これらが整備されると、一層のアクセス向上が見込まれます。

このようなことから、市としても、重要施策として位置づけ、通常の維持管理も合わせて、国・県に対し要望するとともに、周辺7市町で構成されている「高知・徳島・愛媛間道路整備促進期成同盟会」においても、積極的に要望を行っていきたいと考えております。

※再検討事項

特になし

3 地域課題

課題名 山村留学の実現に向けた具体的方策について

質疑応答（要約）

山村留学は、都会の子供たちが、豊かな自然の中で、様々な自然体験をする教育実践活動であり、さらには、過疎地域における零細校対策として実施されている場合が多いと聞いています。山村留学を実施するためには、受入れ体制の整備が必要であり、特に寮の機能を持つ施設が必要であると考えます。

また、これまで、別子小中学校の児童生徒数の増加のため、小規模特認校制を実施してきたが、結果的に児童数の増加につながらなかったという経緯もあります。

現状では、寮などの施設整備に対する先行投資は難しいと考えていますが、今後、別子山での実現の可能性については、引き続き、検討していきます。

※ 再検討事項

別子山には、空き家も多くあり、寮などの施設整備を行わなくても、山村留

学は可能と考えることもできます。しかし、一方で、受入れ家庭を探さなくてはならないなどの問題もあります。別子山校区としては、今後の教育委員会の調査検討結果を待ちながら、具体的な方策について、検討を行っていくので、情報提供をきちんとしてほしい。

課題名 成運動公園への夜間照明設備の整備について

質疑応答（要約）

別子山市民グラウンドは、昭和57年に建設されたものであるが、施設が老朽化し、漏電の恐れがあるとともに、安定器についても落下する恐れが考えられたことから、利用者の安全確保を図るため、平成18年3月に照明設備を撤去しました。

夜間照明設備の撤去以前から、グラウンドの利用状況が極めて少なかったこと、また、学校のグラウンドが利用可能であったことから、現在まで復旧されていません。

原形復旧という事情は理解できますが、改修となれば多額の経費が必要となることから、今後の利用状況等を勘案し、計画していきます。

※ 再検討事項

特になし

課題名 支所機能の維持について

質疑応答（要約）

現在、別子山支所では、正規職員8人、保険業務担当として、短時間再任用職員1人、臨時職員1人の合計10人の職員で、窓口業務をはじめ、地域バスの運行や林道の開設など、別子山地区の住民の方々が安心して生活できるよう、地域に密着した事務を行っています。

また、台風や大雪などの災害時には、高齢者が多いことや地理的要因もあり、各個人で対応しきれない場合には、支所に相談してもらい、職員が対応しているケースもあると聞いています。

このように、支所の機能は、多岐に及んでおり、通常の公務だけでなく、地域活動や消防団活動などにおいても、地域の拠点として、非常に重要な役割を担っていることは、十分に承知しております。

しかし、職員数の増については、別子山支所に限らず、難しいのが現状ですが、合併時に策定した新市建設計画を推進するにあたっては、経済部や建設部

などの各事業担当課との連携により、遺漏のない対応をしていきたいと考えています。

※ 再検討事項

特になし

(ただし、上記回答をいただいたが、支所機能の現状を維持については、今後の地区にとって大変重要であることから、来年度も同様の要望が出される可能性が高いと思われる。)

4 その他

(1) 携帯電話の不感地域の解消について

引き続き、全ての機種について、別子山地域全域において、携帯電話が使えるよう、新居浜市として、関係各所への働きかけを継続してほしい。

(2) 県道「高知伊予三島線」の道路排水側溝の改良について

市道路課に対し、現状の説明を行うとともに、現況写真を提供し、県での対応を依頼しました。